

博覧会の名称(案)について

1 名称の考え方

- ・高知県で幕末や明治維新の 150 年の節目に博覧会が開催されていることが、シンプルでわかりやすく伝わる名称であること。
- ・第 1 回準備委員会での意見を踏まえ、博覧会の期間中は高知県観光キャンペーン「リョーマの休日」の中で開催されていることが分かるようにすること。
- ・博覧会の開催方針との整合性を図ること。

※「歴史」を中心とした、“本物のこうちに出会える” 楽しさ満載の周遊型・延泊型の博覧会の展開

2 博覧会の名称案

① 志国高知 幕末維新150年博 ～その時、志は土佐の山間より～

(テーマ) 京や江戸から遠く離れた土佐の山間から、なぜ多くの若者が維新の志士となって飛び出し、また、その後の自由民権運動に関わっていくのかを探究することで、彼らを育んだ時代につながる土佐の風土・文化や地域の人々、食・自然を知っていただく博覧会とする。

(第一幕のコンセプト) 土佐山内家と志士が見た幕末

(第二幕のコンセプト) 龍馬と明治維新

② こうち歴史ロマン博 ～幕末の志は土佐の山間より～ (第一幕) ～文明開化の音がする～ (第二幕)

(テーマ) 京や江戸から遠く離れた土佐の山間から、なぜ多くの若者が維新の志士となって飛び出し、また、その後の自由民権運動に関わっていったのか、そのロマンや背景を求めていくことで、彼らを育み、今も脈々と受け継がれる土佐の風土や文化、地域の人々、食や自然を巡る楽しさを伝える博覧会とする。

③ こうち維新発見博 ～土佐の偉人の軌跡～ (第一幕) ～維新の風土、再発見～ (第二幕)

(テーマ) 龍馬や中岡慎太郎だけでなく、埋もれた維新の志士が土佐の各地に眠っている。その人々を維新に駆り立てた情熱や情報の伝達力、自由な思想性など、その時代の最先端である土佐を振り返り、今に続く魅力の軌跡を発見してもらおう博覧会とする。

(参考)

名称のその他の候補は次のとおり。(委員から追加でいただいた意見が主)

- ①土佐維新150 (いごっそ) 博
- ②土佐維新博150 (いごっそ)
- ③150年土佐維新博
- ④幕末よさこいフェスタ150
- ⑤日本の夜明けぜよ! 高知家まるごと博 ～リョーマの休日 150年記念歴史博～
- ⑥ふたたび「歴史の扉を押すぜよ」高知家まるごと博 ～リョーマの休日 150年記念歴史博～
- ⑦高知家の幕末維新タイムトラベル
- ⑧志国高知 幕末・維新ドラマ博
- ⑨土佐・歴史ふうど博
- ⑩高知家 明治維新150周年記念博